

週刊「観光経済新聞」創刊75周年記念論文コンテストの入賞作品を、10月6日号から順次掲載しています。

創刊75周年記念論文コンテスト佳作

本稿は「旅館とはなにか」を軸に、文化的非効率性と時代の変化とのバランスの中で、旅館の意義と価値観について考察するものである。

江戸時代から続く旅館経営の実践を通して、人口減・超高齢化社会・世界から見た日本という社会変化の中で「旅館らしさ」を再定義していきたい。

榎原敬之の「Elderflower cordial」という楽曲の中に、「ここが君においてよ、と言える場所かどうか。僕はすっと考えてる。」という一節がある。

2015年リリース直後に聴いて以来、ずっとこのフレーズが引っかかり続けている。

初めて聴いた当時、恥ずかしながら胸を張ってうちの旅館においてよ」とは知人に対して言えなかった。正直にいうと、まだ言えない。楽天ホテルで先日5点満点をいただいたが、心から感謝はしつつ、まだまだ納得できていないのだ。

この一節は「まさに旅館とは何か」という問いの向き合い続ける重要なキーワードなのだろう。

それは、「サービスが丁寧」とか「料理が美味しい」とか「清掃が行き届いている」とかそんな話とは違つた。それらは大切なのだが、事象についてのことというよりは、

「あなたにとってこの場所があなたのままでいいんだよ。」と親戚のお家、おばあちゃんのお家のように「目に見えぬ何かではないけど、なんともあらへんけど、良かったらいつでもおいでよ」と言える心にあるのではないかと。

多くのことが効率化されていく現代においてもなお、日本人が古来から十九神を信じるように、人々に説明のつかない安心感と共にずっと変わらずにその場所にある日本古来の生活文化を通して帰れる場所こそが、旅館なのではないかと。

【揺るばる旅館らしさ】

2019年の旅館業法が変わるまでは法律で「旅館」「ホテル」と明確な区分があった※。部屋数等もあったが「和」と「洋」の違いも明記されていた。

そこだけを抑えると、もはや旅館業法上で旅館ホテルが合体されたことも傾ける。旅館が会席料理を提供してくれるし、板前が会席料理を提供してくれるところもある。まさに「和」のおもてなしである。

理由の一つに検索サイト等で絞り込み検索をかける際、旅館のチェックを外されることもあるため、施設名をホテルとし、検索の際に候補から外されないような意図があると聞いた。

逆に旅館だが和洋室としてベッドを用意しているところも少なくない。

京都においては、外資系ラグジュアリーホテルをはじめ多くのブランドホテルが進出しているが、外資系ホテルに定期的な舞妓が来てロビーで舞を披露したり※、高級な日本の調度品が飾られていたり、大浴場があったり、レストランに行けば地産地消のものを使った料理を味わえる等旅館顔負けのホテルも多数存在する。

旅館関係者と旅館って何だろっかと話をすると経営者たちは言葉を詰まらせることが多く、その議論に結論が出たことはない。

先日立命館大学経営管理大学院の「旅館経営」というタイトルの模擬授業を受講した際※、教鞭を取っているその方に「旅館の定義をお伺いしたところ、間違え入らずに2つの条件「部屋数が少数であること」「泊食分離でないこと」と提示された。

実務をしている私からすると、納得には至らなかった。部屋数に関しては大型旅館は100室以上あるところもある。

また泊食分離については少なくとも綿善では20年以上前から泊食分離は進めている。その他の旅館もどこを見ても食事付きでない予約が取れないというところは一軒も見当たらない。ちなみに泊食分離の定義は聞くことが叶わなかったで私の解釈が違つ可能性もあるのその点は補正しておきたい。

ただし、その教授の定義に則ると、創業2000年を目前とした綿善旅館はプラン上で泊食分離を叶えているため、私たちはホテルに区分されている。

現代において、各旅館はホテルのようにレストランを持ち合わせているとしても、宿泊プラン上で素泊まり、一泊朝食付き、一泊二食付きを選ぶ等、泊食分離は当たり前に進んでいる。

今年に入り、一時期旅館が泊食分離をせずに旅館がお客様を地域飲食店に行かせないよう困り込んでいたのを見受けた際の記事がネット上を賑わせた。関係行政もヒヤリングされるなど一部業界が反応した。

だが、それは宿泊業界に対する偏見の記事にしたように捉えており、実際にはほとんどの旅館が上記のように必要に応じて泊食分離の宿泊スタイルをご予約の時点で選ぶことができる。

まさに今多様化する宿泊施設を前に「旅館らしさ」とは何か、改めて答える見つめる時期に差し掛かっているだろう。

【旅館と文化と生産性】

旅館は日本の生活文化をより色濃く体験できることが、価値の一つであると考えている。

実際、宿泊アンケートのインバウンドの方の結果は概ね半数以上の方が「旅館施設」を意思決定の際の動機としてチェックを入れている。いわゆる旅館という体験を求めているのである。

また文化都市である京都に関しては、長年に渡り国内外から人気観光地となっている。それは観光客として訪れるだけでなく、働く土地としても選ばれる傾向にある。例年、採用の際にも京都府外からの応募は、一定数ある。

観光に関しては先日「JALのフレンチ企画に協賛した際に、フレンチ応募条件として旅館に関するアンケートにお答えいただいた。

総回答数は5,307名で、京都に過去何度訪れたことがあるかという問いに対しては、1,033名が約100の方が一度は来られているとのことだった。

2回以上に関しては4,455名で約83%がリピーターとなり、その中でも5回以上の訪問者は2,051名が56%と回答数の半数以上になる。

それは京都は人気の地で、伝統や歴史は選りすぐりの振るまい理由の一つだろう。実際に京都コンベンション

に対しては、長年に渡り国内外から人気観光地となっている。それは観光客として訪れるだけでなく、働く土地としても選ばれる傾向にある。例年、採用の際にも京都府外からの応募は、一定数ある。

観光に関しては先日「JALのフレンチ企画に協賛した際に、フレンチ応募条件として旅館に関するアンケートにお答えいただいた。

総回答数は5,307名で、京都に過去何度訪れたことがあるかという問いに対しては、1,033名が約100の方が一度は来られているとのことだった。

2回以上に関しては4,455名で約83%がリピーターとなり、その中でも5回以上の訪問者は2,051名が56%と回答数の半数以上になる。

それは京都は人気の地で、伝統や歴史は選りすぐりの振るまい理由の一つだろう。実際に京都コンベンション

に対しては、長年に渡り国内外から人気観光地となっている。それは観光客として訪れるだけでなく、働く土地としても選ばれる傾向にある。例年、採用の際にも京都府外からの応募は、一定数ある。

観光に関しては先日「JALのフレンチ企画に協賛した際に、フレンチ応募条件として旅館に関するアンケートにお答えいただいた。

総回答数は5,307名で、京都に過去何度訪れたことがあるかという問いに対しては、1,033名が約100の方が一度は来られているとのことだった。

2回以上に関しては4,455名で約83%がリピーターとなり、その中でも5回以上の訪問者は2,051名が56%と回答数の半数以上になる。

それは京都は人気の地で、伝統や歴史は選りすぐりの振るまい理由の一つだろう。実際に京都コンベンション

に対しては、長年に渡り国内外から人気観光地となっている。それは観光客として訪れるだけでなく、働く土地としても選ばれる傾向にある。例年、採用の際にも京都府外からの応募は、一定数ある。

観光に関しては先日「JALのフレンチ企画に協賛した際に、フレンチ応募条件として旅館に関するアンケートにお答えいただいた。

総回答数は5,307名で、京都に過去何度訪れたことがあるかという問いに対しては、1,033名が約100の方が一度は来られているとのことだった。

旅館を諦めない

小野 雅世氏



【著者略歴】1984年生まれ。立命館大学卒業後、三井住友銀行勤務を経て家族経営旅館。2015年取締役、2021年代表取締役へ就任。現在は「おかみ」として旅館の魅力発信や講演活動にも力を注ぐ。4児の母。

ビュローが京都を選ぶ理由を4つの幸に記しているが、二つ目に「伝統と革新の調和のまち」とある。二つ目に「日本の文化首都」とある。

京都の観光のうちに、その疲れを癒し翌日の活力に繋げる宿泊施設として旅館は一役買っている。その中で、チェックイン後は畳の部屋に寛いだのち、大浴場で汗を流し、夕食を堪能された方は板前が朝、一番かま度度していたお出汁を使った様々な料理を召し上がった。その後、お料理を堪能し、お休みなされたら翌朝にはまた板前が二つ丁寧に作り上げた朝食をご用意し、食後は京抹茶や和紅茶をご案内し、旅で体感する文化の世界観を、そのま旅館でも引き継ぎ、連日の旅行を宿泊という角度から私たちはお手伝いさせていたに違いない。

しかし、「文化」は少子超高齢化の進む現代において、相性が良いとは言えない。

国や観光庁が2015年から宿泊業

に対しては、長年に渡り国内外から人気観光地となっている。それは観光客として訪れるだけでなく、働く土地としても選ばれる傾向にある。例年、採用の際にも京都府外からの応募は、一定数ある。

観光に関しては先日「JALのフレンチ企画に協賛した際に、フレンチ応募条件として旅館に関するアンケートにお答えいただいた。

総回答数は5,307名で、京都に過去何度訪れたことがあるかという問いに対しては、1,033名が約100の方が一度は来られているとのことだった。

2回以上に関しては4,455名で約83%がリピーターとなり、その中でも5回以上の訪問者は2,051名が56%と回答数の半数以上になる。

それは京都は人気の地で、伝統や歴史は選りすぐりの振るまい理由の一つだろう。実際に京都コンベンション

職人技のよさに華麗に用いる姿は、どうやら面白いようである。

また、修学旅行生の方々は、普段はどんな方がベッドのため、布団を敷くことは学習の一つとして求められている。

綿善は20年以上前から泊食分離は進めている。その他の旅館もどこを見ても食事付きでない予約が取れないというところは一軒も見当たらない。ちなみに泊食分離の定義は聞くことが叶わなかったで私の解釈が違つ可能性もあるのその点は補正しておきたい。

ただし、その教授の定義に則ると、創業2000年を目前とした綿善旅館はプラン上で泊食分離を叶えているため、私たちはホテルに区分されている。

現代において、各旅館はホテルのようにレストランを持ち合わせているとしても、宿泊プラン上で素泊まり、一泊朝食付き、一泊二食付きを選ぶ等、泊食分離は当たり前に進んでいる。

今年に入り、一時期旅館が泊食分離をせずに旅館がお客様を地域飲食店に行かせないよう困り込んでいたのを見受けた際の記事がネット上を賑わせた。関係行政もヒヤリングされるなど一部業界が反応した。

だが、それは宿泊業界に対する偏見の記事にしたように捉えており、実際にはほとんどの旅館が上記のように必要に応じて泊食分離の宿泊スタイルをご予約の時点で選ぶことができる。

まさに今多様化する宿泊施設を前に「旅館らしさ」とは何か、改めて答える見つめる時期に差し掛かっているだろう。

【旅館と文化と生産性】

旅館は日本の生活文化をより色濃く体験できることが、価値の一つであると考えている。

実際、宿泊アンケートのインバウンドの方の結果は概ね半数以上の方が「旅館施設」を意思決定の際の動機としてチェックを入れている。いわゆる旅館という体験を求めているのである。

綿善のある井筒屋町でも例年通り前のように行われていたのだが、コロ

ナが蔓延していた頃の約3年は休止した。

そうしないと、人口減少に起因する人手不足が加速する中で成り立たないからだった。

例えば、旅館では定番の布団を定期に敷くというオペレーションは、その時期前後に人手が必要になってくる。それがベッドであればその分の作業は生みれない。

だが、「布団を敷く」「布団をあげる」ということは現代において文化体験の一つとなっている。

海外のお客様はその布団をスタッフが用意する姿を動画で撮る方もしばしばある。

職人技のよさに華麗に用いる姿は、どうやら面白いようである。

また、修学旅行生の方々は、普段はどんな方がベッドのため、布団を敷くことは学習の一つとして求められている。

綿善は20年以上前から泊食分離は進めている。その他の旅館もどこを見ても食事付きでない予約が取れないというところは一軒も見当たらない。ちなみに泊食分離の定義は聞くことが叶わなかったで私の解釈が違つ可能性もあるのその点は補正しておきたい。

ただし、その教授の定義に則ると、創業2000年を目前とした綿善旅館はプラン上で泊食分離を叶えているため、私たちはホテルに区分されている。

現代において、各旅館はホテルのようにレストランを持ち合わせているとしても、宿泊プラン上で素泊まり、一泊朝食付き、一泊二食付きを選ぶ等、泊食分離は当たり前に進んでいる。

今年に入り、一時期旅館が泊食分離をせずに旅館がお客様を地域飲食店に行かせないよう困り込んでいたのを見受けた際の記事がネット上を賑わせた。関係行政もヒヤリングされるなど一部業界が反応した。

だが、それは宿泊業界に対する偏見の記事にしたように捉えており、実際にはほとんどの旅館が上記のように必要に応じて泊食分離の宿泊スタイルをご予約の時点で選ぶことができる。

まさに今多様化する宿泊施設を前に「旅館らしさ」とは何か、改めて答える見つめる時期に差し掛かっているだろう。

【旅館と文化と生産性】

旅館は日本の生活文化をより色濃く体験できることが、価値の一つであると考えている。

実際、宿泊アンケートのインバウンドの方の結果は概ね半数以上の方が「旅館施設」を意思決定の際の動機としてチェックを入れている。いわゆる旅館という体験を求めているのである。

綿善のある井筒屋町でも例年通り前のように行われていたのだが、コロ

ナが蔓延していた頃の約3年は休止した。

そうしないと、人口減少に起因する人手不足が加速する中で成り立たないからだった。

例えば、旅館では定番の布団を定期に敷くというオペレーションは、その時期前後に人手が必要になってくる。それがベッドであればその分の作業は生みれない。

だが、「布団を敷く」「布団をあげる」ということは現代において文化体験の一つとなっている。

海外のお客様はその布団をスタッフが用意する姿を動画で撮る方もしばしばある。

職人技のよさに華麗に用いる姿は、どうやら面白いようである。

また、修学旅行生の方々は、普段はどんな方がベッドのため、布団を敷くことは学習の一つとして求められている。

綿善は20年以上前から泊食分離は進めている。その他の旅館もどこを見ても食事付きでない予約が取れないというところは一軒も見当たらない。ちなみに泊食分離の定義は聞くことが叶わなかったで私の解釈が違つ可能性もあるのその点は補正しておきたい。

ただし、その教授の定義に則ると、創業2000年を目前とした綿善旅館はプラン上で泊食分離を叶えているため、私たちはホテルに区分されている。

現代において、各旅館はホテルのようにレストランを持ち合わせているとしても、宿泊プラン上で素泊まり、一泊朝食付き、一泊二食付きを選ぶ等、泊食分離は当たり前に進んでいる。

今年に入り、一時期旅館が泊食分離をせずに旅館がお客様を地域飲食店に行かせないよう困り込んでいたのを見受けた際の記事がネット上を賑わせた。関係行政もヒヤリングされるなど一部業界が反応した。

だが、それは宿泊業界に対する偏見の記事にしたように捉えており、実際にはほとんどの旅館が上記のように必要に応じて泊食分離の宿泊スタイルをご予約の時点で選ぶことができる。

まさに今多様化する宿泊施設を前に「旅館らしさ」とは何か、改めて答える見つめる時期に差し掛かっているだろう。

【旅館と文化と生産性】

旅館は日本の生活文化をより色濃く体験できることが、価値の一つであると考えている。

実際、宿泊アンケートのインバウンドの方の結果は概ね半数以上の方が「旅館施設」を意思決定の際の動機としてチェックを入れている。いわゆる旅館という体験を求めているのである。

綿善のある井筒屋町でも例年通り前のように行われていたのだが、コロ

ナが蔓延していた頃の約3年は休止した。

そうしないと、人口減少に起因する人手不足が加速する中で成り立たないからだった。

例えば、旅館では定番の布団を定期に敷くというオペレーションは、その時期前後に人手が必要になってくる。それがベッドであればその分の作業は生みれない。

だが、「布団を敷く」「布団をあげる」ということは現代において文化体験の一つとなっている。

海外のお客様はその布団をスタッフ

職人技のよさに華麗に用いる姿は、

また、修学旅行生の方々は、普段は

綿善は20年以上前から泊食分離は進

ただし、その教授の定義に則ると、

現代において、各旅館はホテルのよ

今年に入り、一時期旅館が泊食分離

だが、それは宿泊業界に対する偏見

【良い旅館になるための5つの

旅館について多角的に見ていく中

で、良い旅館とは何かについて考察

【良い旅館の定義について】

旅館は日本の生活文化をより色濃

実際、宿泊アンケートのインバウン

綿善のある井筒屋町でも例年通り

ナが蔓延していた頃の約3年は休止

そうしないと、人口減少に起因する

例えば、旅館では定番の布団を定

また、修学旅行生の方々は、普段

綿善は20年以上前から泊食分離は

ただし、その教授の定義に則ると、

現代において、各旅館はホテルの

今年に入り、一時期旅館が泊食分

だが、それは宿泊業界に対する偏

【良い旅館になるための5つの

旅館について多角的に見ていく中

で、良い旅館とは何かについて考

【良い旅館の定義について】

旅館は日本の生活文化をより色濃

実際、宿泊アンケートのインバウ

綿善のある井筒屋町でも例年通り

ナが蔓延していた頃の約3年は休

そうしないと、人口減少に起因す

例えば、旅館では定番の布団を定

また、修学旅行生の方々は、普段

綿善は20年以上前から泊食分離

ただし、その教授の定義に則ると

現代において、各旅館はホテルの

今年に入り、一時期旅館が泊食分

だが、それは宿泊業界に対する偏

【良い旅館になるための5つの

旅館について多角的に見ていく中

で、良い旅館とは何かについて考

【良い旅館の定義について】

旅館は日本の生活文化をより色濃

実際、宿泊アンケートのインバウ

綿善のある井筒屋町でも例年通り

ナが蔓延していた頃の約3年は休

そうしないと、人口減少に起因す

例えば、旅館では定番の布団を定

また、修学旅行生の方々は、普段

綿善は20年以上前から泊食分離

ただし、その教授の定義に則ると

現代において、各旅館はホテルの

今年に入り、一時期旅館が泊食分

だが、それは宿泊業界に対する偏

【良い旅館になるための5つの

旅館について多角的に見ていく中

で、良い旅館とは何かについて考

【良い旅館の定義について】

旅館は日本の生活文化をより色濃

実際、宿泊アンケートのインバウ

綿善のある井筒屋町でも例年通り

ナが蔓延していた頃の約3年は休

そうしないと、人口減少に起因す

例えば、旅館では定番の布団を定

また、修学旅行生の方々は、普段

綿善は20年以上前から泊食分離

ただし、その教授の定義に則ると

現代において、各旅館はホテルの

今年に入り、一時期旅館が泊食分

だが、それは宿泊業界に対する偏

【良い旅館になるための5つの

旅館について多角的に見ていく中

で、良い旅館とは何かについて考

【良い旅館の定義について】